

01 自動運転バス実証実験 区間を延伸して運行します

交通政策課 ☎027-898-5939

本市と群馬大、日本中央バスがバスネットワークの充実のために共同で行っている、自動運転バスの実証実験。昨年度の実験から区間を伸ばし、中央前橋駅、JR前橋駅、けやきウォーク前橋の間で運行します。通常の運賃でどなたでも乗車可能。運転手が乗車して走行します。また、1月10日(金)15時30分にはけやきウォーク前橋(文京町二丁目)で、運行開始セレモニーを実施します。運行スケジュールなど詳しくは、本市ホームページをご覧ください。

期日=1月11日(土)~3月1日(日)の土日曜・祝日
費用=大人100円~150円、小人50円~80円



02 白銀の赤城でレジャーを満喫 赤城山雪まつり

観光振興課 ☎027-283-0181

赤城大沼や赤城山第1スキー場で雪まつりを開催。氷上ワカサギ釣り体験やジュニアスキー教室、雪上宝探し、スノーシューツアーを行います。白樺牧場では前橋ホワイトフェスティバルも開催。犬ぞりやディスクドッグなどを実施します。詳しくはホームページをご覧ください。

日時=2月1日(土)9時~14時30分
費用=イベントは実費

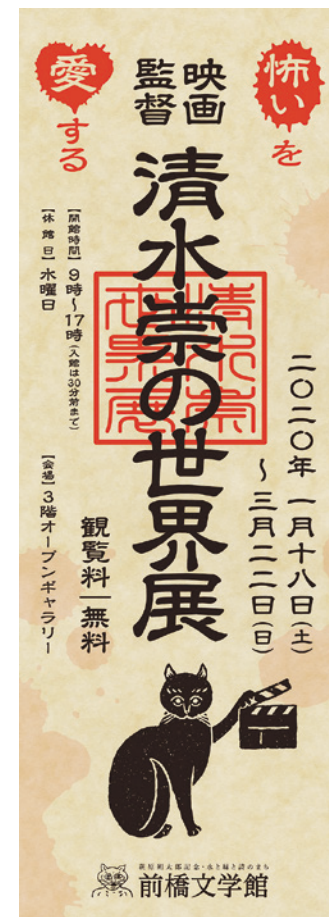


03 T-1グランプリ開催 各店自慢の豚肉料理に投票を

観光振興課 ☎027-210-2189

市内飲食店を対象にした豚肉料理コンテスト、T-1グランプリ。今回は62店舗が自慢の豚肉料理で競います。皆さんの投票と覆面審査員の採点の合計で、入賞店とグランプリ店を決定。異なる2店舗以上でエントリーメニューを食べてシールをもらい、応募ハガキに貼り付けて3月3日(火)までに応募してください。応援した人の中から抽選で賞品が当たります。詳しくは公式ホームページをご覧ください。

期日=1月9日(木)~2月29日(土)



「怖いを愛する」シリーズ、最新作『犬鳴村』ゆかりの品々などを展示します。

ホラーを中心に幅広い作品を世に送り出し、世界的に活躍する本市出身の映画監督・清水崇。清水監督の作品世界が味わえる企画展「怖いを愛する」映画監督・清水崇の世界展」を開催します。映像制作のきっかけになった群馬県人口200万人記念映画『眠る男』(1996年・小栗康平監督)、日米で大ヒットを記録した映画『呪怨』シリーズ、最新作『犬鳴村』

期間中は下記のとおり前橋シネマハウスで特集上映も開催。1月25日(土)には監督が前橋シネマハウスに凱旋。シアタートークも行います。

日時=1月18日(土)~3月22日(日)
(水曜を除く)、9時~17時(入館は16時30分まで)


前橋文学館
☎027-235-8011
映画上映については前橋シネマハウス
☎027-212-9127


清水崇
昭和47年前橋市生まれ。平成10年に監督デビューし、これまでホラーを中心に手掛ける。代表作『呪怨』シリーズのアメリカリメイク版が日本人初の全米興行成績1位となった。


怖いを愛する 映画監督・清水崇の世界を味わう企画展

清水崇監督作品を上映
シネマハウスで関連イベント

- 清水崇作品特集上映
期日=1月25日(土)~2月7日(金)
費用=1作品1,000円、全作フリーパス2,500円
- 上映&シアタートーク「怖さと笑いは紙一重」
市内ロケ作品『ブルーハーツが聴こえる』の第四話「少年の詩」の上映後、清水監督とゲストが映画や前橋での日々を語りまします。
日時=1月25日(土)13時30分
対象=一般、先着50人
出演=映画監督・清水崇さん、映画評論家・ヴィヴィアン・アン佐藤さん、文学館長・萩原朔美
費用=1,000円
申し込み=前橋シネマハウス、前橋文学館へ直接


文学館長 萩原 朔美


ヴィヴィアン 佐藤さん


清水 崇監督

子どもたちが描く 朔太郎の詩の世界を展示

前橋文学館 ☎027-235-8011

前橋が生んだ詩人、萩原朔太郎。前橋文学館では、夏休み中の小中学生から、朔太郎の詩を読みイメージした作品を募集。応募作品の中から選出した作品を展示・表彰します。
期日=1月18日(土)~2月2日(日)(水曜を除く)

● 表彰状贈呈式
各部門の入賞者へ表彰状を贈呈。読み聞かせの会ドロップスによる朔太郎詩朗読もあります。
日時=1月19日(日)14時
申し込み=当日会場へ直接

